

午後のつるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (平成30年度)

	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	4月	29	土曜	8:30	13:00	東市民センター	10名
活動名称	タケノコ掘り体験会						報告者：吉井

＜主な活動内容＞ イベント活動の場合の参加者数(110)人

8:30 スタッフ集合準備開始

机、ブルーシート、ドラム缶など設置、ショベル・ヘルメット準備
ドラム缶でホイル焼きとタケノコご飯をたくため、を行うため、燃料の竹を運び、燃やし始める。

9:00 受付開始

予約していた参加者が続々来場、キャンセルもあったが、ある程度キャンセルを見越していたため、40組(子供59名、大人51名)の参加となった。

9:15 イベント開始

東市民センターの前庭で、スケジュールと注意事項説明を行った。
その後、竹林に移動し、タケノコの掘り方を実演し、掘った後は埋め戻すことを徹底した。
家族ごと竹林に散らばり、タケノコ掘り開始、スタッフは、掘り方を教えたり、手こずっている家族には手助けをして、参加者全員がタケノコ掘りを楽しめるよう援助した。
掘りたてのタケノコをかかえ、喜ぶ子供たちの歓声が竹林に広がった。

10:00 タケノコの皮むきと料理開始

掘ったタケノコは、東市民センターに運び、全員で皮むきを行った。
皮をむいたタケノコは水洗いして、調理室に持ち込みタケノコ汁がつくられた。
タケノコは、身より皮の方が多いため、皮を詰めたゴミ袋の山ができた。
半分ほどのタケノコは、適度の大きさに切り、子供たちもてつだって、味噌を挟んでアルミホイルで包み、前もって竹を燃やして作った熾き火の入ったドラム缶でホイル焼きにした。
最後に青竹を切って中にお米をつめてドラム缶の火で炊いたタケノコご飯を作った。

11:30 タケノコ料理を楽しむ

こうして作ったタケノコ料理(タケノコ汁、ホイル焼きタケノコご飯)を参加者、スタッフ全員で美味しくいただいた。

12:30 イベント終了 スタッフで後片付け

課題 4月29日は、杉下支えあい協議会の総会のため、来年は29日を避けて開催する。
タケノコイベントは、大人気で受付開始2日で定員超えとなり、20組ほどお断りしている。
特に地元の五味ヶ谷地区の方もかなりお断りとなってしまった。来季は参加人数増を検討する。

協力団体; 広域おやこ劇場ひき北いるま、一二三富の会、杉下域支え合い協議会
 <里山参加会員> 佐野、小沼、吉井、小澤、小澤、柏木、石川、風祭、森下、宮崎
 <活動写真>

